

1 ページから続く

**基本目標3 「脱炭素・循環型社会への貢献」**

～環境負荷の低減や資源の有効利用に努め、環境を守る～

温室効果ガスの抑制や省エネルギーに配慮した取組を推進するとともに、水資源の保全や資源の有効利用を図り、地球環境を守ります。

**施策と取組事項**

**(1) 環境負荷の低減**

環境



**【具体的な取組事項】**

○水資源の保全

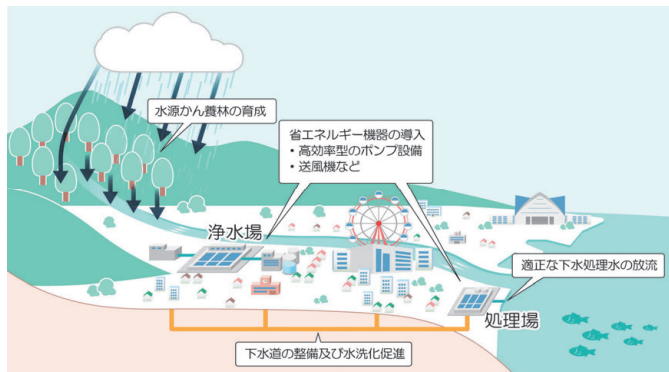
水源かん養林の育成支援など水資源の保全に努めます。

○公共用水域の水質保全

下水道の整備及び水洗化を促進し、生活雑排水が公共用水域へ流入することによる負荷の低減に努め、処理場からの放流水については、下水道法等に適合するよう適正な汚水処理・水質管理を行い、流出負荷の低減に努めます。

○上下水道施設の省エネルギー対策

脱炭素・循環型社会へ貢献するため、高効率型の設備など、省エネルギー機器を積極的に導入し、環境負荷の低減を図ります。



▲「環境負荷の低減」のイメージ

**(2) 資源の有効利用**

環境



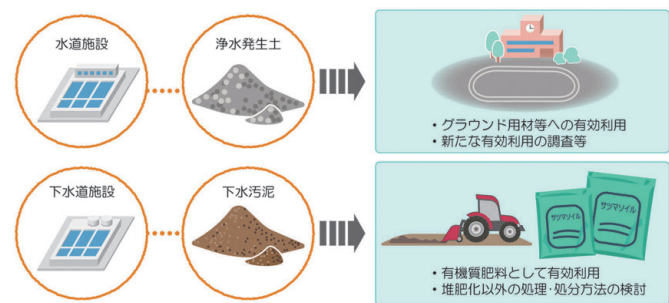
**【具体的な取組事項】**

○浄水発生土の有効利用

浄水処理を行う過程において発生する浄水発生土については、引き続き、グラウンド用材等への有効利用を行います。

○下水道資源の有効利用

下水汚泥については、サツマソイルの市民への利用促進を図るとともに、需要供給のバランスを考慮しつつ、堆肥化以外の処理・処分方法についても検討します。  
また、下水処理水については、処理場内の機械用水や雑用水などとして、有効利用に努めます。



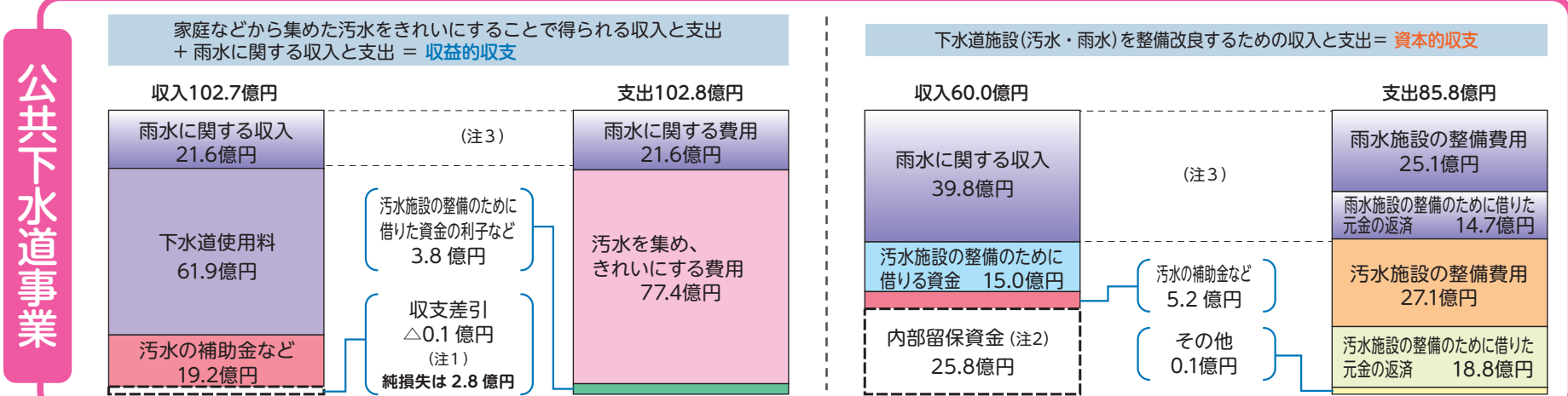
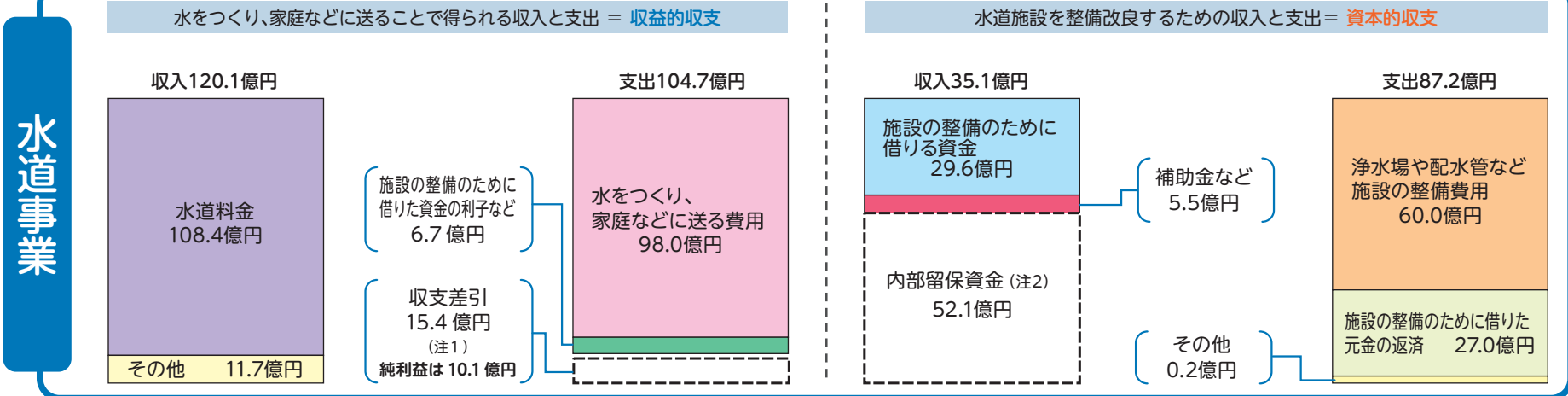
▲「資源の有効利用」のイメージ

【経営管理課 TEL：213-8507】 【水道整備課 TEL：213-8527】 【下水道建設課 TEL：213-8538】

**水道事業・公共下水道事業の予算(令和5年度)の概要**

令和5年度の予算では、電気料金の値上げによる影響などにより、水道事業は10.1億円の純利益（黒字）、公共下水道事業は2.8億円の純損失（赤字）と、前年度より厳しい経営状況となっています。

今後とも、公営企業として独立採算の原則に基づき、お客さまの水道料金・下水道使用料を主な収入として、より一層の経営の効率化に取り組みながら、水道事業においては安全で良質な水の安定供給に、公共下水道事業においては良好な水環境と快適な生活環境の確保に努めていきます。



注1…純利益・純損失は税抜きで、その他は税込みです。  
注2…資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費等の内部留保資金で補っています。  
注3…雨水に関する支出は、全て雨水に関する収入(公費など)で賄われています。

○水道局では「工業用水道事業」も運営しています。水道・公共下水道・工業用水道事業の予算については、ホームページでも公表しています。



▲予算の状況  
(水道局ホームページ)

【経営管理課 TEL：213-8506】